

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

3/19(2)

令和 年 月 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 かめやまじょうせきほぞんかい
亀山城跡保存会

所在地

連絡先

代表者役職・フリガナ氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ○ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	浮田ふるさと再発見事業
事業実施区域 (小学校区)	亀山城跡 (浮田学区)

事業実施内容	1. 講演会の開催 講師も決定して2月6日に予定をしていたが、コロナ禍のため延期。 2. 写真展の開催 うきだ振興まつりは、コロナ禍のために中止。それゆえ写真展も中止。 3. 城跡清掃・管理（写真添付） 学区の町内会、浮田小学校のボランティア活動の一環として清掃活動を行った。 4. 浮田子どもクラブの活動（写真添付） ・ 亀山城跡の清掃活動と歴史講話 ・ 亀山城跡の樹木伐採による材木を使用しての木工教室の開催。 ・ 例年の、うきだ振興まつりでの亀山城歴史クイズの立案と司会進行は、うきだ振興まつり中止のため実現しなかった。 5. 亀山城跡の樹木成長にともなう伐採作業（写真添付） ・ 4年目となる保存会メンバーによる伐採作業を実施。 ・ 次年度以降も継続して実施する。 ・ 保存会浮田子どもクラブの木工教室や椎茸栽培の材料として使用。（計画していた椎茸駒打ち体験はコロナ禍で小学校時間がとれず中止） 6. 亀山城プレーパークの実施（写真添付） ・ 幼い子どもをもつ若い世代の家族に亀山城跡を知ってもらうために、プレーパークを開催した。3回目。
② 解決を目指した課題	戦国の雄、岡山開府の祖と言われる宇喜多直家・秀家親子、その直家が戦国大名に名乗りを上げた居城であり、秀家が誕生した亀山城ですが、地域の新しい住民や若い世代にはその歴史的価値は十分知られてはおらず、とりわけ歴史的資源としての愛着も薄れています。 多くの学区民に郷土の偉大な先人と亀山城という郷土の歴史遺産を正しく理解し関心を持ってもらい、多くの方々に広めていく必要があります。 若い世代への継承が課題ですが、子どもたちへの働きかけは浮田子どもクラブがありますが、子どもたちの親の年代へはプレーパークへの参画を誘っていくことによって亀山城跡保存会の活動に参加していく道筋をつけたい。

③ 目的・目標の達成状況

1. 講演会開催について
講師も決定して2月6日に予定をしていたが、コロナ禍のため延期。
2. 写真展の開催
うきだ振興まつりは、コロナ禍のために中止。それゆえ写真展も中止。
3. 城跡清掃・管理
 - ・例年行っている中学校のボランティア活動はコロナ禍のため中止。
 - ・小学校浮田子どもクラブの清掃は、浮田学区の各町内会からの参加もあって、例年通り実行。また終了後、地元歴史家の講話もあって、歴史の学習になっている。
4. 浮田子どもクラブの活動
 - ・前年度から引き続き、子どもクラブの活性化が続き、よき伝統になりつつあったが、今年度はコロナ禍で小学校休校による時間圧迫のため、考えていた活動が縮小せざるを得なかった。
5. 亀山城跡の樹木伐採作業
 - ・昨年度に引き続き、保存会メンバーによる伐採作業を実施した。
 - ・次年度以降も継続して作業実施予定。
6. 亀山城プレーパークの実施
 - ・NPO法人岡山市子どもセンターのご協力によって、3回目のプレーパークを成功裏に終わることが出来た。子どもはもちろん、若い親世代にも好評だった。参加者は子ども約90人、大人約80人。

④企画等の工夫と情報公開	1. 講演会の開催について 次年度へ延期。 2. 写真展の開催 次年度開催はコロナ過の終息の状況による。 3. 城跡清掃管理 ・学区の町内会長に呼びかけ多くの参加者を募った。 ・清掃後、地元歴史家の講話は歴史の学習になっている。 4. 浮田子どもクラブ ・前述したが、コロナ禍のなかでの小学校との調整をしながら、可能なことに取り組んだ。 5. 亀山城跡の樹木伐採作業 ・保存会メンバーがチェーンソーを持ち寄り、今年度計画分の作業を実施することができた。 6. これらの活動を岡山市市民協働局市民協働企画総務課のスタッフの取材によってFACEBOOKに掲載していただき情報公開がより進み感謝です。
⑤次年度計画	1. 歴史講演会の開催 今年度出来なかったので次年度はぜひやりたい。 2. 城跡の清掃・管理 ボランティアの継続や学区全体への呼びかけをしていく。 (具体的には町内会長への意識喚起と回覧依頼) 3. 浮田子どもクラブの活動を継続させていく。 会員証授与式の内容の豊富化、役員との話し合い。 4. 亀山城跡を訪れる人たちの訪問者ノートなどの設置継続 5. 亀山城跡の樹木伐採作業5年目。 6. 亀山城プレーパークは4年目として継続実施したい。 プレーパーク運動そのものの意義はもちろんのことだが、子どもを持つ若い親世代が亀山城跡という場所を知る機会にもなる

1. 役員の交代があつて4年目、新メンバーの協力体制ができあがってきた。
2. 浮田子どもクラブの活動がコロナ禍のため活性化したとは言い難い。
3. 樹木伐採も保存会メンバーの協力でなんとか4回目の作業ができた。
4. 城跡訪問者への配慮をいくつか行つた。
(道標が目立つよう軍旗の設置、訪問者ノート記入者で希望する人に「亀山城跡しおり」の郵送、などは実行できた)

○事業決定時での審査会意見（区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容）

- ・コロナ禍で講演会を開催するのはたいへんだと思う。コロナ対策をしっかりしたうえで 事業に取り組んでほしい。
- ・SNSを活用して事業対象者を若い世代まで広げ、地元の歴史を伝承して行ってほしい。
- ・乙子城や砥石城がある地域と連携し事業に取り組むと、活性化するだけでなく地域間で繋がりが生まれるので良いと思う。
- ・事業に沿った歌があると親近感が沸く。
- ・直家や秀家の人柄や生き方を学べる機会をつくったら良いと思う。
- ・実行委員に若い人や女性を増やしたほうが良い。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等
(右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。)

- ・今年度は、コロナ禍のなかで、例年恒例の事業も出来ないことが多くあつたので、上記のような助言意見を参考に新しい試みをする事は不可能であつた。

助言等の内容について、
事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑧事業実施経過

年 月 日	内 容
2年9月24日	講演会延期の件で講師の了解を得る
2年10月22日	浮田子どもクラブについての学校との話し合い
2年11月8日	亀山城跡樹木伐採作業
2年11月15日	プレーパーク準備会
2年11月27日	浮田子どもクラブ 亀山城跡清掃と歴史講話
2年12月6日	亀山城プレーパーク
2年12月13日	プレーパーク反省会
3年1月18日	八丈島大賀郷小学校との交流について小学校校長と話し合い
3年2月3日	八丈島からの寄贈の蘇鉄の霜よけのための菰巻き
3年2月11日	プレーパークリーダー全体研修会に参加
3年3月9日	浮田子どもクラブ木工教室

⑩ 収 支 決 算 書 (令和2年度)

◆ 収 入

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	171,500	92,300	
実施団体負担金	66,500	2,435	亀山城跡保存会
参加者負担金			
協賛金	105,000	90,000	浮田学区連合町内会助成金
寄付、他収入			
計	343,000	184,735	

◆ 支 出

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	101,000	79,845	以下別資料参照
②食糧費	39,000	32,605	
③印刷製本費	68,000	54,560	
④燃料費	5,000		
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	20,000	3,695	
⑦広告料			
⑧手数料		660	
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費	20,000		
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費	50,000		
⑭保険料	10,000	11,570	
⑮旅費	30,000	1,800	
⑯その他			
計	343,000	184,735	